


平成 30 年度
里地里山保全利活用専門部会の
取組み事項

里 1 - <里山の利活用> 竹あんどんづくり

里 2 - <里山の保全管理> 里山保全活動体験

里- 1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

■実施概要

<p>概要・目的</p>		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施 ・地域のお祭りやイベントでも利用されている。 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用 【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流 【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり
<p>実施体制、対象者等</p>		<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：黒川竹行燈の会、明治大学 対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>
<p>実施内容</p>	<p>実施日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹行燈づくり：平成 30 年 11 月 10 日（土）収穫祭
	<p>実施場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の伐り出し：黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫
	<p>周知・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市公園緑地協会の子供向けイベントでのチラシ配布【約 50 枚】 ・地域活性化検討部会のイベントでのチラシ配布【約 30 枚】 ・ふれあい動物園（高津区・宮前区・麻生区）でのチラシ配布【約 100 枚】 ・ラゾーナ川崎内後援イベントでのチラシ配布【約 50 枚】 ・市内各庁舎情報コーナーにチラシ配布【570 枚】 ・黒川、はるひ野町内会内チラシ掲示・回覧【14 枚】 ・市HP広報 ・麻生区ツイッター広報 ・農業振興課メルマガ広報 
	<p>内容</p>	<p>① 竹行燈づくり（参加費無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生と竹行燈を作る。 <p>（制作した竹行燈は参加者が持ち帰る）</p> <p>② 里地里山の保全活動に対する意向調査（保護者の方向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。
	<p>予算等</p>	<p>チラシ印刷費、材料費等</p>

■実施結果

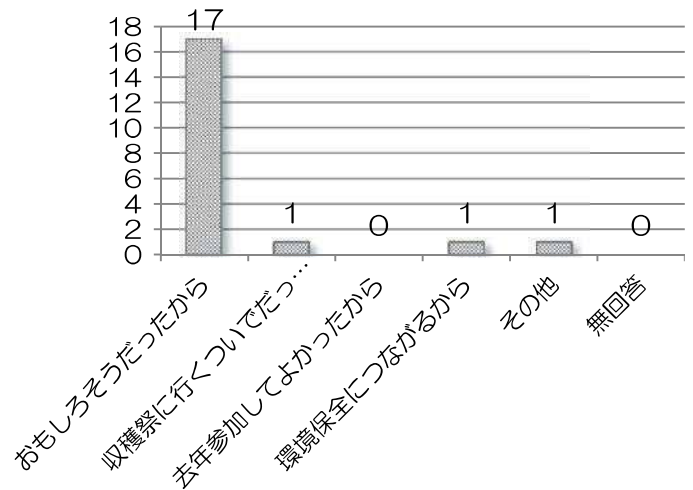
実施概要	実施日時	平成 30 年 11 月 11 日 (土) 9:00~11:30
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹の伐り出し：黒川地区内緑地 ・ 竹行燈づくり：農業用管理倉庫
参加者数	<p>参加者数 25 組 57 人 (子ども：25 名、保護者：32 名) 申込者数 27 組 61 人 (子ども：27 名、保護者：34 名) ※小学生の参加者 (1 年：9 名、2 年：4 名、3 年：1 名、4 年：5 名、5 年：2 名、6 年：4 名) ※中学生の参加者はなし (申込は 1 組) ※参加者居住地域 (川崎：2 組、幸：3 組、中原：1 組、高津：1 組、宮前：1 組、多摩：1 組、麻生：15 組、市外：1 組)</p>	
実施状況 (写真等)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">9:00 農業用倉庫集合・開会</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">「竹の伐り出し」なしグループ</p> <p>9:15 竹あんどん制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 竹を切る 2. ライトを入れる穴を開ける 3. 穴を開ける絵を選ぶ 4. ドリルで穴を開ける 5. ライトを取り付ける <p style="text-align: center;">▼</p> <p>10:20 作品の鑑賞会</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>10:30 終了</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">    </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 60%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">「竹の伐り出し」ありグループ</p> <p>9:20 竹の切り出し</p> <p>9:50 竹あんどん制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 竹を切る 2. ライトを入れる穴を開ける 3. 穴を開ける絵を選ぶ 4. ドリルで穴を開ける 5. ライトを取り付ける <p style="text-align: center;">▼</p> <p>11:10 作品の鑑賞会</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>11:20 終了</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">   </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">※空き時間に竹に関する絵本の読み聞かせを行った。</p>	

主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ●参加者の声（保護者の声） ・最初は難しいと思ったけど、思ったほどでなく、きれいに出来てうれしかった。 ・教えていただき、楽しく作成する事が出来た。 ・知らない事ばかりだった。
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が増え、2部制での開催となったが、3年目の開催であることもあり、比較的スムーズにできた。 ・参加者数によっては、ドリルドライバーの数量等の関係により、参加者に待ってもらう時間が発生する可能性がある。
その他	—

■ アンケート結果（回答数：18件）

Q1.竹あんどんづくりイベントに参加したきっかけはなんですか(いくつでも)

番号	項目	件数
1	おもしろそうだったから	17
2	収穫祭に行くついでだったから	1
3	去年参加してよかったから	0
4	環境保全につながるから	1
5	その他	1
0	無回答	0

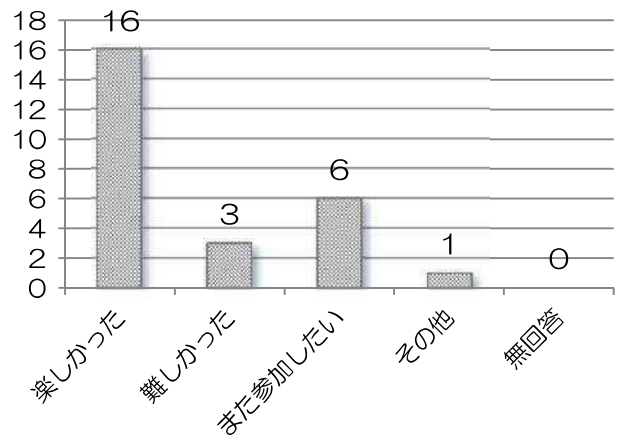


主な意見

- ・竹を切るため。
- ・家に竹あんどんがあるのが素敵だと思った。
- ・黒川地域を知りたいと思った。
- ・川崎駅前のイベントで、川崎市の職員さんに教えてもらった。
- ・メールニュースかわさきメルマガ版「かわさきの農業」。
- ・新聞のチラシ

Q2.本日の感想をお聞かせください(いくつでも)

番号	項目	件数
1	楽しかった	16
2	難しかった	3
3	また参加したい	6
4	その他	1
0	無回答	0

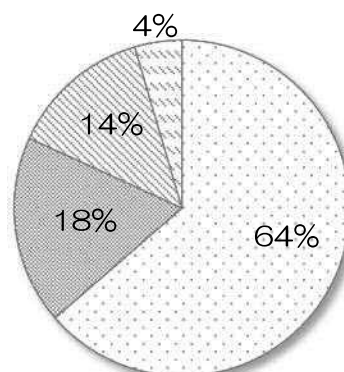


主な意見

- ・最初は難しいと思ったけど、思ったほどでなく、きれいに出来てうれしかった。
- ・教えていただき、楽しく作成する事が出来た。
- ・知らない事ばかりだった。

Q3.今後、黒川で子供向けイベント企画があったら、参加させたいですか

番号	項目	回答数
1	参加させたい	14
2	竹行燈づくりに参加させたい	4
3	企画によっては参加させたい	3
4	そうは思わない	0
5	わからない	1
0	無回答	0



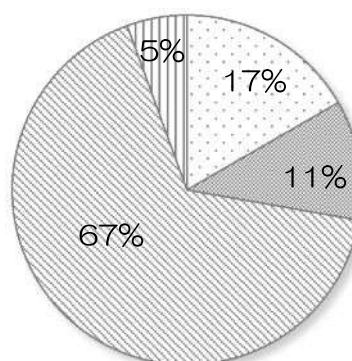
- 参加させたい
- 竹行燈づくりに参加させたい
- 企画によっては参加させたい
- そうは思わない
- わからない
- 無回答

主な意見

- ・黒川に来る前に、川崎駅などでプレイベントがあるとより参加しやすい。
- ・流しそうめん（竹を使って食器づくり）。竹を使ってご飯を炊く。

Q4.大人向けの里山保全利活用の活動に参加してみたいですか

番号	項目	件数
1	参加したい	3
2	竹行燈づくりに参加したい	2
3	企画によっては参加したい	12
4	そうは思わない	1
5	わからない	0
0	無回答	0



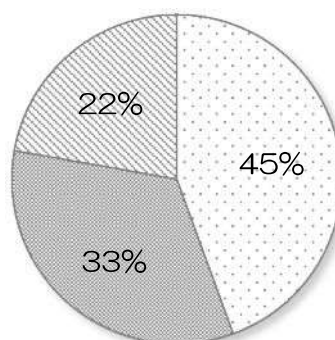
- 参加したい
- 竹行燈づくりに参加したい
- 企画によっては参加したい
- そうは思わない
- わからない
- 無回答

主な意見

- ・子供と一緒にだと参加しやすいと感じる。（大人だけの時間確保が難しいため）

Q5.今後、今年度のイベント等の開催のお知らせを電子メールで配信して良いですか


番号	項目	件数
1	配信してもよい	8
2	配信は希望しない	6
0	無回答	4



- 配信してもよい
- 配信は希望しない
- 無回答

里-2 里山保全活動体験

■実施概要

<p>概要・目的</p>	<p>概要 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p>目的 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、川崎市公園緑地協会 対象者：地元住民、他</p>
<p>実施内容</p>	<p>実施日 平成 31 年 2 月 9 日（土）9：00～11：10</p>
	<p>実施場所 黒川よこみね緑地</p>
	<p>周知・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市公園緑地協会でのこども向けイベントでチラシ配布【約 50 枚】 ・地域活性化検討部会のイベントでのチラシ配布【約 30 枚】 ・ふれあい動物園（高津区・宮前区・麻生区）でのチラシ配布【約 100 枚】 ・竹行燈づくりに参加者へのチラシ配布【25 枚】 ・市内各庁舎情報コーナーにチラシ配布【150 枚】 ・黒川、はるひ野町内会内チラシ掲示・回覧【14 枚】 ・マイコンシティ（南黒川・栗木地区）内の企業へチラシ配布 ・明治大学収穫際 PR ブースでのチラシ配布 ・「緑と道の美術展 in 黒川」に出展した作家への呼びかけ ・市政だより(1/21号)掲載 ・市HP掲載 
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐） <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。 ◆活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。 ・散策路周辺のササを刈ることで、道幅が確保され、散策の場としての里山の利活用につながる。 ・手鎌を使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。
<p>予算等</p> <p>チラシ印刷費等</p>	

■ 実施結果

実施概要	実施日時	平成 31 年 2 月 9 日 (土) 9 : 00 ~ 11 : 30 (予定)
	実施場所	黒川よこみね緑地
	参加者数	参加者数 8 組 16 人 (子ども : 4 名、大人 : 12 名) 申込者数 22 組 32 人 (昨年度 16 名) ※参加者居住地域 (多摩区 : 2 組、麻生区 : 6 組)
実施状況 (写真等)	<p>■ 当日の流れ</p> <p>9 : 00 はるひ野駅集合 (受付)</p> <p>9 : 10 移動・道具の配布</p> <p>9 : 30 黒川よこみね緑地・開会式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業説明 2. ササ刈り 3. 休憩 (10 分) 4. 作業再開 5. 片づけ 6. 記念撮影 <p>11 : 00 閉会式</p> <p>11 : 10 道具の返却・野菜の配布・解散</p> <p>※参加者には後日アンケート送付</p>	    
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちも一緒に参加出来てお手伝いして楽しかったそうです。また来年もやると申しおりました。これからも子どもと参加出来る面白い企画を楽しみにしております。 ・悪天候 (雪) にも関わらず、親子連れを含む、多くの方が参加して頂き、最後までプログラムを実施する事が出来て良かった。参加者の皆さんも、普段できない体験を楽しんだり、積極的に子どもに体験させていた。 	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・より参加者と地元農業者の方が交流できるプログラム作り。 ・子どもには難しい作業であったため、子どもへの対応を考えていく必要がある。 ・悪天候の際の連絡体制の検討 (大雪の予報だったため、多くの問い合わせが来た)。 	
その他		



基本計画の見直しについて

見直しについて

黒川連携協議会の取り組みについて、
地元農業者、明大、川崎市ともに一定の評価をしている。

全体的な方向性は変更はせず、実施計画レベルでの見直しを行う。

- ・協議会の取り組みを、よりわかりやすく伝える必要がある。
- ・多様な取り組みを包括できる方針設定が必要。



1. 計画の体系をよりシンプルで分かりやすいものとする。

- ・黒川で取り組む多様な主体とさらなる連携を広げる必要がある。



2. 各取り組みの中で多様な連携を進める。

- ・協議会に参加していても、他の部会の取り組みが共有化できていない。



3. 協議会の成果を皆で情報共有するしくみにする。

計画に対する主な意見と見直しの方向性

協議会の推進体制の見直し

① より効果的な推進体制の構築

- ・3つの専門部会の柱は残しつつも、具体的な取り組みはまとめてはどうか。
- ・できるものがあれば、イベント等の取り組みを統合してはどうか。

② 他の部会や団体との連携

- ・収穫体験に参加した人が保全活動に参加するなど、部会を超えた連携が必要。
- ・他の団体が行っている取り組みとも連携できると良い。

③ 明大黒川農場との連携強化

- ・アスパラ以外の連携テーマを見つけない。
- ・明大と地域の連携をより推進したい。
- ・明大の学生にもっと参加してもらいたい。

④ 効率的な協議会運営

- ・会議やイベント等が増えると、地元の負担が増えてしまう。



協議会やその他団体等との成果の共有化

⑤ 協議会や協議会の取り組みのPRの充実

- ・会議に出席するまで協議会の取り組みを知らなかった。もっとPRが必要。

⑥ 地元主導の取り組みへの支援

- ・地元主導の取り組みを協議会が支援できるとよい。

⑦ 協議会における取り組みと成果の共有化

- ・参加者数や認知度向上などの成果を把握したい。
- ・協議会やその他黒川での取り組みを共有する必要性を感じた。

基本計画に対する主な意見と見直し

専門部会・協議会での意見

協議会の推進体制の見直し

① より効果的な推進体制の構築

- ・3つの専門部会の柱は残しつつも、具体的な取り組みはまとめてはどうか。
- ・できるものがあれば、イベント等の取り組みを統合してはどうか。

② 他の部会や団体との連携

- ・収穫体験に参加した人が保全活動に参加するなど、部会を超えた連携が必要。
- ・他の団体が行っている取り組みとも連携できると良い。

③ 明大黒川農場との連携強化

- ・アスパラ以外の連携テーマを見つけない。
- ・明大と地域の連携をより推進したい。
- ・明大の学生にもっと参加してもらいたい。

④ 効率的な協議会運営

- ・会議やイベント等が増えると、地元の負担が増えてしまう。

協議会やその他団体等との成果の共有化

⑤ 協議会や協議会の取り組みのPRの充実

- ・会議に出席するまで協議会の取り組みを知らなかった。もっとPRが必要。

⑥ 地元主導の取り組みへの支援

- ・地元主導の取り組みを協議会が支援できるとよい。

⑦ 協議会における取り組みと成果の共有化

- ・参加者数や認知度向上などの成果を把握したい。
- ・協議会やその他黒川での取り組みを共有する必要性を感じた。

見直しについて

- ・各専門部会の取り組みが、さらに自立した活動として根付いていけば、統合化なども検討するが、**今回の改訂では、各専門部会の連携を進めることとする。**

- ・**各部会の取り組みの中で**、他の専門部会や団体との連携強化について検討していく。

- ・**各部会の取り組みの中で**、明大との連携強化について検討していく。

- ・協議会立ち上げのため、会議の回数が多かったが、取り組み内容が概ね固まってきたため、取り組み主体の運営とし、**スケジュールを見直す。**

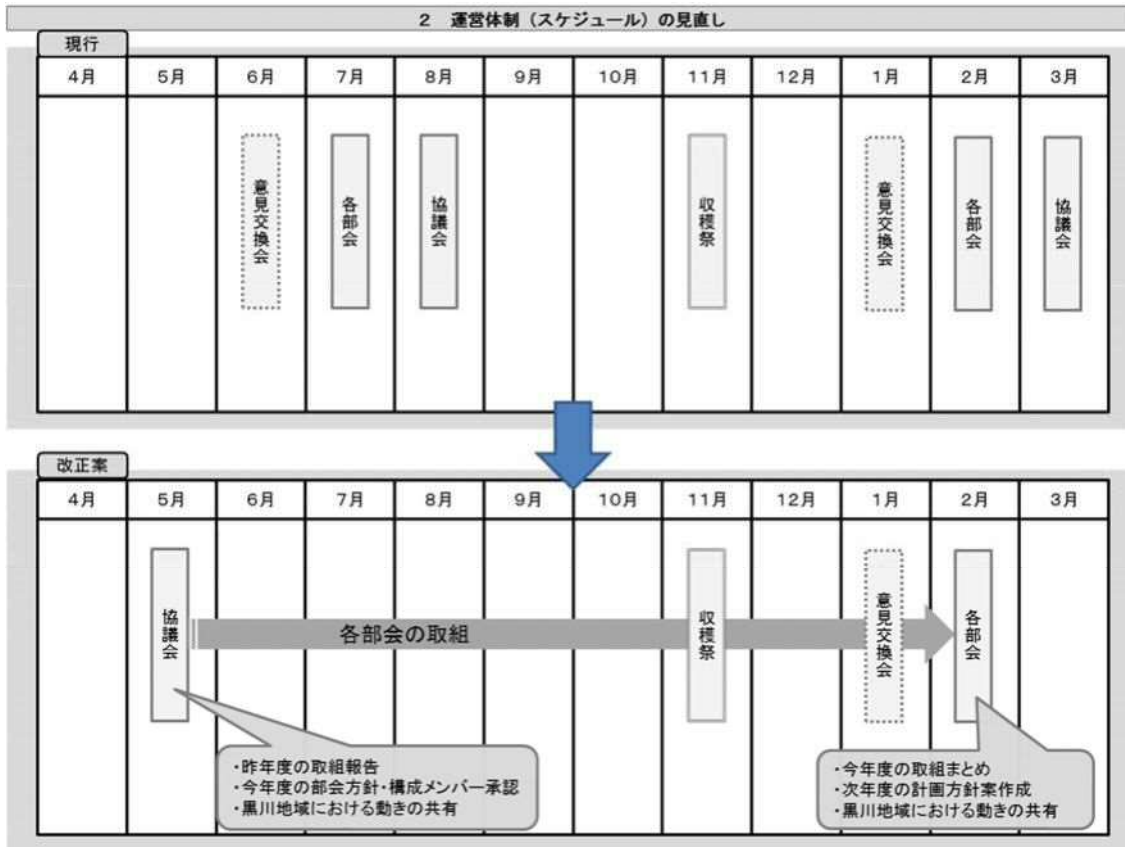
- ・**地域活性化検討専門部会**で協議会のPRを拡充する。

- ・上記⑥の取り組みとして、**地元主導の活動とも積極的に連携し、PR支援**を行う。

- ・各取り組みのイベント参加者数等を取り組み概要で把握できるようにする。
- ・収穫祭で実施する**アンケート**に協議会全体の**取り組み成果が分かる項目を加え、共有**する。

A

B



農と環境を活かしたまちづくりアンケート（対象：収穫祭参加者）

「農と環境を活かしたまちづくり」の取組についてお伺いします

現在、川崎市では黒川地域において、地元と明治大学黒川農場を中心に多様な主体が連携した、「農と環境を活かしたまちづくり」を進めており、その中で明治大学黒川農場の収穫祭と連携し、地域で様々な取組を実施しています。

Q6. 平成26年度より農と環境のまちづくりの取組を進めているところですが、ご存じでしたか。（〇はひとつ）

1. 知っていた 2. 知らなかった

Q7. 収穫祭と連携した取組について、お伺いします。
A～Fのうち、知っていた取組はありますか。（〇は項目につきひとつ）
また、それぞれ取組内容について、お伺いします。（〇は項目につきひとつ）

A. 地元野菜の直売 (11/10 収穫祭販売ブースで実施)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

B. 子供向け竹遊べ祭り (11/10 農業用倉庫前で実施)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

C. 竹遊べの展示即売会 (11/10 収穫祭 本館1Fで実施)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

D. 「サトヤアートサンボ2018」 (11/9～11/18 黒川駅～明大農場間で実施)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

E. 「緑と道の美術展in黒川2018」 (11/1～11/30 はるひ野駅～黒川駅間で実施)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

F. 黒山アート散歩ツアー (11/10 黒山 11/11 紅葉)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

（各取組の詳細内容は本ブース内のチラシをご覧ください）

Q8. 別の時期に行っている取組について、お伺いします。
G～Iのうち、知っていた取組はありますか。（〇は項目につきひとつ）
また、それぞれ取組内容について、お伺いします。（〇は項目につきひとつ）

G. 明大農場野菜の収穫体験 (7月)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

H. 野菜収穫体験とどろみ作り (12月)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

I. 黒山保全活動体験（草刈り・竹伐り） (2月)

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 興味がある 4. 興味なし

Q9. 今後の取組でやってほしい、やってみたい、などのご意見があれば教えてください。

最後にあなたご自身のことについて伺います。

F1. あなたの性別。（〇はひとつ）

1. 男性 2. 女性

F2. あなたの年齢。（〇はひとつ）

1. 10～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳
4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳
7. 70歳以上

F3. あなたの現在のお住まいはどちらですか。（〇はひとつ）

川崎市内 1. 鶴見区 2. 多摩区 3. 宮前区 4. 高津区
5. 中原区 6. 幸区 7. 川崎区
横浜市内 8. 青葉区 9. 都筑区 10. その他（具体的に： _____）
東京都内 11. 町田市 12. 多摩市 13. 稲城市 14. 調布市
15. その他（具体的に： _____）
その他の地域（具体的に： _____）

F4. 本日は、どなたと一緒に来られましたか。（〇はひとつ）

1. 家族と 2. 友人と 3. 職場の間者と 4. 学校関係者と 5. ひとり
6. その他（具体的に： _____）

F5. どのような交通手段で来られましたか。（〇はひとつ）

1. 自家用車 2. バス 3. 電車 4. 徒歩
5. その他（具体的に： _____）

F6. SNSを利用していますか。（〇はひとつ）

1. 利用している 2. 利用していない

利用している場合は、使用しているサービスを教えてください。（〇はひとつでも）

1. Facebook 2. Instagram 3. Twitter
その他（ _____ ）

F7. 川崎市では「かわさきイベントアプリ」により、川崎市内のイベント情報を一括して発信していますが、ご利用されていますか。（〇はひとつ）

1. 利用している 2. 利用していないが、利用してみたい
3. 利用していない 4. その他（ _____ ）

加える項目（案）

- ・黒川の好感度
- ・協議会の認知度
- ・黒川産農作物の知名度
- ・セレサモス利用頻度
- ・黒川の風景ツイッターの認知度・利用頻度 等

アンケートはご協力ありがとうございます

7

実施計画

(平成27年度作成)
(平成28年度より本種実施)

1. 実施計画と平成30年度の取り組み(予定)

基本計画の実施方針に基づき、平成30年度の取り組みについて、以下の事項を定めています。

実施方針	具体化の考え方	No.	取り組み項目	概要	H28	H29	H30
地元農産物の販売促進と加工品の開発	新規農産物や郷土農産物栽培の推進	農1	大学と農家の意見交換会	大学と地元農業者の相互の取組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくりへの連携につなげる。	○	○	○
		農2	アスパラガスの新たな栽培方法「採りっさり栽培」の実施(地域連帯による農業者への研修)	新規ホーラーを使用し、3月定植、育苗に併せて採りっさり「採りっさり栽培」の展示研修を行う。栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。	○	○	○
		農3	農産物に関する講習会	病虫害対策等に関する、農産物栽培に役立つ講習会を、大学と連携して開催する。	○	○	○
	農産物等研究部門部会	農4	地元農業者との農産加工品等に関する検討	地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う。	○	○	○
		農5	黒川野菜・果物のPR(黒川による黒川野菜の産地の実施)	明治大学黒川農産物の収穫祭等で、地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。	○	○	○
農や地域環境を体感するイベント・PR	黒川地域の認知促進	地1	サイン・散策マップの検討・試行	散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども念めたサインの検討・試行を行う。(里山保全活用専門部会と連携)	○	○	○
		地2	里山景観づくりの検討・試行	黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の花を植える「里山の景観づくり」の検討を行う。	○	○	○
		地3	HP等による取り組み紹介とイベントPR	農と連携のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実を行う。	○	○	○
	地域活性化検討専門部会	地4	グリーンツーリズム	【野菜の収穫体験】市民の方を対象に野菜の収穫体験を実施し、植え付けから収穫・調理までを通して活動できるイベントにする。	○	○	○
		地5	竹炭シンポジウム in 川崎	昔ながらの炭焼き体験や炭の今後の活用可能性等をテーマとしたシンポジウムを、農家・大学・企業連携も見据えて実施。	○	○	○
		地6	新たな魅力の発見・創造	【里山アートサンボ】地域内の農と里山環境を活かした里山アート展示を実施。アーティストによる作品展示・里山アートをめぐるツアー	○	○	○
里山の保全管理や活用	里1	<里山の利活用> 竹あんどんづくり	黒川地域の緑地の竹を活用し、地元小学生とともに、竹あんどんづくりを実施。将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定	○	○	○	
	里2	<里山の保全管理> 里山保全活動体験	里山での保全活動体験(草刈りや竹伐りなど)を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討。	○	○	○	

2. 平成28年度以降の進め方

平成27年度に作成した「実施計画」に基づき実施していきますが、具体的な取り組みは、毎年の成果を踏まえ、毎年設定します。また、おおむね3年程度を目途に、必要に応じて基本計画の内容についても適宜修正します。

H26	H27	H28	H29	H30
作成	作成	実施計画に基づく取り組み	実施計画に基づく取り組み	実施計画に基づく取り組み
基本計画の作成	実施計画の作成	取り組みの確認 実施 まとめ分析評価	取り組みの確認 実施 まとめ分析評価	取り組みの確認 実施 まとめ分析評価

実施計画の見直しについて

8

計画に対する主な意見と見直し(案)

① 農産物等の地産地消

現行計画の項目	専門部会での主な意見	見直しの考え方	見直し(案)	
新規農産物や郷土農産物栽培	農1 大学と農家の意見交換会の開催	・農産物部会のメンバーだけでなく、協議会全体で行った方が有効だ。	・部会で明大と連携した講座等を企画し、広く参加を呼び掛ける。	発展 N農1 大学と連携した意見交換会・講座の開催
	農2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りっさり栽培」の実施	・アスパラガスの生産体制の拡充と販路拡大が必要だ。 ・ブランド化を進めたい。	・病虫害対策など栽培技術の向上を目指す。 ・アスパラ以外の農産物栽培の可能性も検討する。	継続 N農2 栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施
	農3 農産物に関する講習会の開催	・アスパラガスの講習会は、農2に統合してよい。 ・アスパラ以外も検討したい。 ・高齢化等の課題がある。	・栽培技術の向上に必要な講習会を検討する。 ・多様な検討・取り組みで、農業活性化を進める。	継続
農産物の加工開発	農4 地元農業者との農産加工品等に関する検討	・余った野菜や直売に出せない野菜を活用したい。 ・農家が加工所を設置するのは難しい。 ・委託加工も考えられる。	・農産物だけでなく、加工品のPRも力を入れる。 ・地域活性化検討専門部会等との連携を進める。	統合 N農3 地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上
	農5 黒川野菜・果物のPR	・収穫祭で黒川野菜のPRをして、後日、セサモスに再来訪してもらえるようにしたい。	・収穫祭での販売のほか、黒川農場等と連携してPRする。	継続 N農4 収穫祭等における黒川産農産物のPR

実施方針農1
農産物等の栽培技術、
環境の向上実施方針農2
黒川産農産物の知名度向上
とPRの推進

計画に対する主な意見と見直し（案）

② 農と里山体験・地域交流

	現行計画の項目	専門部会での主な意見	見直しの考え方	見直し（案）		
農と里山の認知促進	地1 サイン・散策マップの検討・試行	・これまでどおりイベント時に配布・掲示する。 ・地元、来街者から設置要望があるか把握する。	・常設ではなく、イベント時にマップなどを配布・掲示。 ・マナーについては、情報発信にありせて啓発する。	発展 統合	N地1 黒川里山の風景のPR	実施方針 地1 黒川の魅力情報の発信
	地2 里山景観づくりの検討・試行	・花だけでなく、農作物が広がる景観も地域の景観としてPRできる。	・黒川の四季を通じた見所などを区のHPやツイッター、パネル等で発信する。		N地2 協議会の取り組みやイベントのPR	
	地3 HP等による取り組み紹介とイベントPR	・協議会のPRの拡充や、地域で情報を共有する必要がある。 ・協議会以外でも様々な団体等がイベントを実施。	・協議会と各部会の取り組みのPRを拡充する。 ・他の黒川地域イベントとの広域連携を行う。	継続		
農と里山の体感	地4 グリーンツーリズム	・大学も場所と講師を継続して協力できる。	・地元農家や大学と連携した収穫体験を実施。	発展	N地3 グリーンツーリズムの実施	実施方針 地2 農と里山を体感するイベントによる地域連携強化
地域資源の発見・創造	地5 地域農産物等の活用「菜の花プロジェクト」	・当該団体の活動が自立した。	・今後も広報等の支援を行う。	統合		
	地6 里山アート制作と展示	・黒川のPRにつながった。 ・同時期に地元発案の取り組みも盛況。	・今後は地元主催アートイベントとの連携を強化。 ・広報協力等を実施。	継続・発展	N地4 地元主催アートイベントへの協力	

計画に対する主な意見と見直し（案）

③ 里山の保全と活用

	現行計画の項目	専門部会での主な意見	見直しの考え方	見直し（案）		
里地里山の体験・利活用	里1 里山の利活用 竹あんどんづくり	・会員の技術が向上し、竹行燈だけでなく、他にも制作が可能。 ・WS参加者も、増やせる。 ・作業の拠点がほしい。	・竹の活用方法を広げる。 ・参加者が増えるよう、広報を充実させる。	継続・発展	N里1 竹を使ったワークショップの実施	実施方針 里1 里山資源の活用推進
里地里山の保全活用	里2 里山保全活動体験	・市民や企業のボランティアを活用した管理を実施できるとよい。 ・参加者をもっと増やしたい。	・黒川周辺の企業や団体との連携を広げる。 ・明治大学と連携した実施方法を検討する。	継続・発展	N里2 里山の保全活動体験イベントの実施	実施方針 里2 里山の保全活動体験の推進

平成31年度の 具体的な取り組み（案） について

平成31年度 里地里山保全利活用専門部会の取り組み（案）

基本方針	実施方針	No.	取り組み項目
里山の 保全と活用 里地里山保全利 活用専門部会	里山の 体験・利活用	里1	竹を使ったワーク ショップの実施
	里山の 保全管理	里2	里山の保全活動体験 イベントの実施

里1：竹を使ったワークショップの実施

目的 竹林の整備の発生材活用と竹林管理の意識啓発を行う。

内容 地元小学生とともに、竹林から竹を伐り出すところからはじめる竹を使ったワークショップ（竹あんどん等）を開催。

実施箇所 営農管理倉庫、黒川地域

実施体制 担当：みどりの協働推進課
協力：黒川竹行燈の会
対象：地元小学生、保護者



スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							← 収穫祭	→ ○			
							広報・募集				

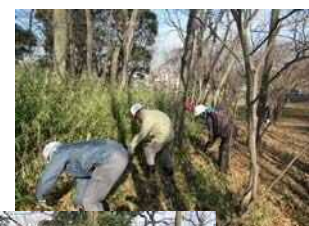
里2：里山の保全活動体験イベントの実施

目的 体験を通じた、新たな保全活動の担い手の発掘。

内容 黒川周辺の団体などに呼びかけを行い、多様な連携を図りながら里山保全活動体験を実施する。

実施箇所 黒川よこみね緑地、他

実施体制 担当：みどりの協働推進課
協力：黒川緑地管理協議会
対象：市民、黒川周辺企業や団体等



スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
									← 体験イベント	→ ○	
									周知・募集		

黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり 概要説明書 H31.3(案)

基本計画

(平成26年度作成)
(平成30年度一部改定)

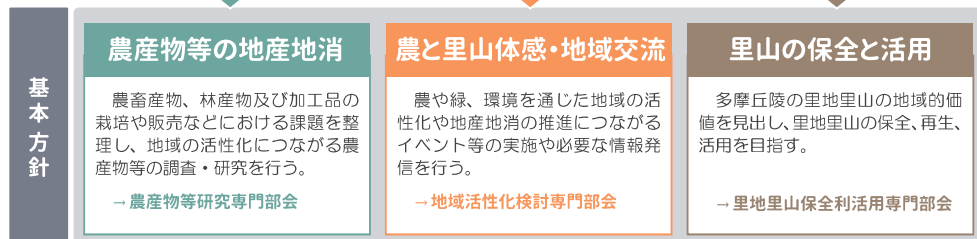
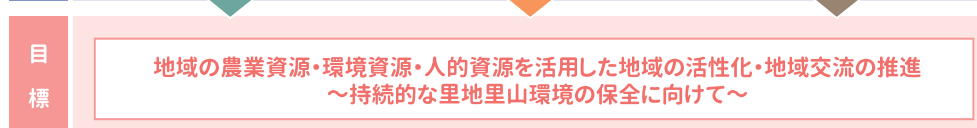
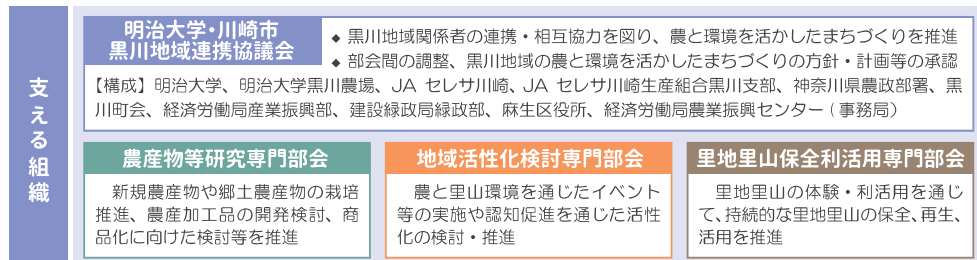
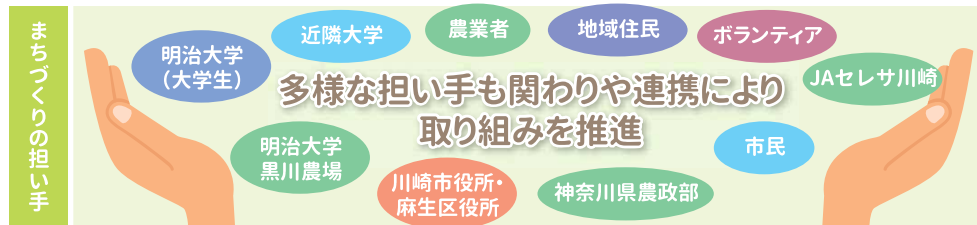
1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的

川崎市麻生区黒川地域は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域です。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。

そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

2. 推進体制と目標、実施方針

多様な担い手からなる「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」を中心に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試行し、検証の上、継続的に実施していく取り組み内容を検討していきます。



実施計画

(平成27年度作成)
(毎年改定)

1. 実施計画と平成31年度の取り組み(予定)

基本方針に基づき、平成31年度の取り組みについて、以下の事項を定めています。

基本方針	実施方針	No.	取り組み項目	概要	H31
農産物等の地産地消 農産物等研究専門部会	農産物等の栽培技術、営農環境の向上	農1	大学と連携した意見交換会、講座の開催	目的：明治大学の先端技術やノウハウを活用した農業活性化。 内容：大学の研究成果等を共有できるよう、地元農業者が参加できる意見交換会や講座を開催する。	○
		農2	栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施	目的：大学等と連携し、栽培技術の向上を図る。 内容：農産物の栽培方法等に関する勉強会や研修会等を開催し、黒川における栽培技術の向上を図る。	○
	黒川の農産物の知名度向上とPRの推進	農3	地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上	目的：地域イベント等を通じ、黒川産農産物の知名度向上を図る。 内容：黒川の農産物を身近に親しんでもらえるよう、黒川地域で行われるイベント等を通じ、知名度向上を図る。	○
		農4	収穫祭等における黒川産農産物のPR	目的：販売会を通じて黒川産農産物のファンを増やす。 内容：明治大学等と連携しながら、黒川産農産物をPRする。	○
農と里山体感・地域交流 地域活性化検討専門部会	黒川の魅力情報の発信	地1	黒川里山の風景のPR	目的：里山の四季の風景をより多くの人に楽しんでもらう。 内容：麻生区のホームページやツイッター、また、街中でのポスター掲示等を通じて、魅力ある里山風景を発信する。	○
		地2	協議会の取り組みやイベントのPR	目的：協議会と、協議会の取り組みをより多くの人に発信する。 内容：部会連携を強化し、協議会の取り組みや成果を麻生区HP等で紹介。	○
	農と里山を体感するイベントによる地域連携強化	地3	グリーンツーリズムの実施	目的：黒川の魅力を体感してもらい、再来訪のきっかけをつくる。 内容：市民を対象に、明治大学や地元農家と連携した収穫体験を開催。	○
		地4	地元主催アートイベントへの協力	目的：農と里山を体感するイベントを応援し、活動を活性化させる。 内容：地元主催のアートイベント「緑と道の美術展in黒川」の広報協力(チラシやパンフの配架やHP掲載、パネル展示等)を行う。	○
里山の保全と活用 里地里山保全活用専門部会	里山の保全管理	里1	竹を使ったワークショップの実施	目的：竹林の整備の発生材活用と竹林管理の意識啓発を行う。 内容：地元小学生とともに、竹林から竹を伐り出すところからはじめ竹を使ったワークショップ(竹あんどん等)を開催。	○
		里2	里山の保全活動体験イベントの実施	目的：体験を通じた、新たな保全活動の担い手の発掘。 内容：黒川周辺の団体などに呼びかけを行い、多様な連携を図りながら里山保全活動体験を実施する。	○

2. 平成31年度以降の進め方

平成31年度に作成した「実施計画」に基づき実施していきますが、具体的な取り組みは、毎年の成果を踏まえ、毎年設定します。また、おおむね3年程度を目途に、必要に応じて基本計画の内容についても適宜修正します。

